

31【P2】I-341

脊椎動物における潜在的主要胆汁酸, $3\alpha, 7\alpha, 14\alpha$ -トリヒドロキシコラン酸, の合成
 ○柿山 玄太¹, 萩田 理恵¹, 飯田 隆¹, 後藤 貴章², 眞野 成康², 後藤 順一², 南原 利夫² (日本大文理,²東北大院薬)

【目的】ケノデオキシコール酸(CDCA; $3\alpha, 7\alpha$ -Dihydroxy-5 β -cholan-24-oic acid)の5 β -水酸化体が、ある種の脊椎動物(キジ, ハムスターなど)の主要胆嚢胆汁酸成分として知られているにもかかわらず、同じ第三級水酸基をもつ、 $3\alpha, 7\alpha, 14\alpha$ -トリヒドロキシ体が存在するという報告はなされていない。我々の研究グループは約900種脊椎動物の胆嚢胆汁酸成分を分析した結果、構造未知のC₂₄トリヒドロキシ体が主要代謝産物として存在していることを推定したが、その最終的な構造決定には至っていない。本研究では潜在的な主要胆汁酸として可能性が大きい $3\alpha, 7\alpha, 14\alpha$ -Trihydroxy-5 β -cholan-24-oic acid (**1**)とそのタウリン抱合体 (**1a**)の標品合成を試みた。

【実験, 結果】目的化合物の合成ルートを下記に示した。本合成過程において、5 β -ステロイド核上14 α -ヒドロキシル基が酸性および中性条件下で極めて容易に脱離し、対応 Δ^{14} -化合物に変換され易いことが判明した。

